

保護者の皆様

札幌市立八軒小学校  
校長 松村 隆志

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について

本年、4月17日（火）に6学年児童を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」について、本校の傾向や課題を分析しましたのでお知らせいたします。なお、本校6年生児童の個人の結果については既に保護者に配付しております。

### 1. 全国学力・学習状況調査について

4月17日、全国一斉に小学校第6学年と中学校第3学年の児童を対象に、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。」ことを目的に実施されました。この調査は、国語、算数、理科の学力を調査する学力テストと子どもたちの生活や学習の傾向について調査する質問紙の2つから構成されています。学力テストで表れてくるものは、子どもたちに育むべき学ぶ力の一部分であるにとらえますが、今回の調査で明らかになった点を、学校全体の課題としても捉え、今後の教育活動に活かしてまいります。

### 2. 分析結果について

#### I. <「教科に関する調査」の分析結果の概要> .....

下の表のように、国語、算数それぞれ4つの領域について、A「知識」とB「活用」に区分された問題に解答しました。

教科	国 語				算 数				理 科			
領域	話す こと 聞く こと	書く こと	読む こと	伝統的な 言語文化 と国語の 特質に関 する事項	数と 計算	量と 測定	図形	数量 関係	物質	エネ ル ギー	生命	地球
区分	A 主として「知識」に関する問題								A「知識」とB「活用」に関する問題を一体的に出題			
	B 主として「活用」に関する問題											

また、各教科について、区分ごと4つの領域それぞれの正答率を全国平均と比較し、以下の比較値に照らして表記しています。

基準	全国平均 +3.1%以上	全国平均 +3.0%以内	全国平均	全国平均 -3.0%以内	全国平均 -3.1%以下
表記	△上回っている	◇ほぼ同程度である がやや上回っている	=ほぼ同程度	◆ほぼ同程度である がやや下回っている	▼下回っている

\*この表は、全市共通の書式になっています。

「教科に関する調査」の分析結果と改善の方向について

＜小学校 国語＞

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

主として「知識」に関する問題（A）

- ◇「話すこと・聞くこと」の平均正答率
  - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。
- ◇「書くこと」の平均正答率
  - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。
- ◇「読むこと」の平均正答率
  - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。
- △「言語事項」の平均正答率
  - ・全国平均を上回っている。

\*話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

\*相手の意図を捉えながら聞くためには、自分に伝えたい事は何か、共に考えたい事は何かなど、話の内容を十分に聞き取ることや相手と自分の意見を比べて考えを述べるため、どこが共通するのか、どのような点が違うのかなどを具体的に明示しながらまとめて話す活動の充実。

\*目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして詳しく書くこと。

\*書く目的や意図に応じて分かりやすく説明するために、伝えたい事は何か分かるようにして、どのように詳しく書けば効果的に考えを伝えることができるか整理して書く学習の充実。

主として「活用」に関する問題（B）

- △「話すこと・聞くこと」の平均正答率
  - ・全国平均を上回っている。
- △「書くこと」の平均正答率
  - ・全国平均を上回っている。
- ◇「読むこと」の平均正答率
  - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。

\*目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと。

\*伝記には様々なものがあり、同じ人物の伝記であっても、複数の本を選んで読むことで人物の生き方や人生などをより深く知ることができることや人物の生き方や考え方、その偉業を意味付けるといった点から、同じ本の中でも、事実の記述や説明の表現が一つではなく複数用いられていることが多い。それらを結び付けながら読む指導の工夫。



<小学校 算数>

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

主として「知識」に関する問題（A）

- △「数と計算」の平均正答率
  - ・全国平均を上回っている。
- ◇「量と測定」の平均正答率
  - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。
- △「図形」の平均正答率
  - ・全国平均を上回っている。
- △「数量関係」の平均正答率
  - ・全国平均を上回っている。

\*数量の関係を基に、論理的、発展的に考察し、数学的の表現すること。

\*規則性を解釈し、条件に合う事柄について、適切に判断すること。

\*表を用いた考えを解釈し、条件に合う事柄について、適切に判断すること。

\*日常生活の問題解決のために、複数の情報を解釈し関連付けて考察し、判断の理由を根拠を明確にして説明できることや事象から規則性を見だし、変化や対応の関係を基に、合理的、能率的に処理し、条件に合う事柄について適切に判断することができる学習の充実。

\*日常生活の問題の解決のために、事象の中に含まれる複数の情報を解釈し、数量の関係に着目して数理的に処理したり、自ら考えた方法を基に試行錯誤し、様々な情報を表やグラフ、式などに表して考察した事柄から適切に判断したりすることができる学習の充実。

主として「活用」に関する問題（B）

- ◆「数と計算」の平均正答率
  - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- ◆「量と測定」の平均正答率
  - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- =「図形」の平均正答率
  - ・全国平均と同じ
- ◆「数量関係」の平均正答率
  - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

\*複数の観点で示された情報とグラフを関連付けて解釈し、表現すること。

\*グラフの特徴を理解し、複数のグラフから読み取ることができること。

\*日常生活の中で、主体的に問題を見いだして情報を収集し、表やグラフなどに整理して考察する。考察した結果から新たな問題を見だし、さらに情報を収集し表やグラフに整理し直して考察できるようにする。グラフの特徴を複数の観点で捉えて、情報を読み取ったり、目的に応じてグラフを新たに作り、複数のグラフを関連付けて考察したりすることができる学習の充実。



<小学校 理科>

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区域及び領域】

◇「物質」の平均正答率  
 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。

＝「エネルギー」の平均正答率  
 ・全国平均と同じ

◆「生命」の平均正答率  
 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

▼「地球」の平均正答率  
 ・全国平均を下回っている。

\*骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解していること。

\*人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できること。

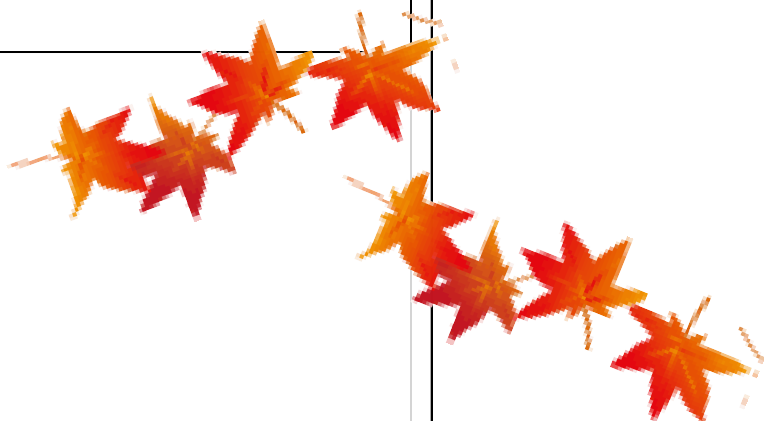
\*太陽の一日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できること。

\*堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解していること。

\*主体的な問題解決の活動を通して獲得した知識を、実際の自然や日常生活に当てはめて用いることができるように、観察や実験、資料等を用いて調べ活動などを通して獲得した内容を図や模型等を用いて説明したり、日常生活と関係付けて考えたりする学習の充実。

\*学んだ事を基にしたものづくりへの適用ができるようにするためには、目的や獲得した知識をものづくりにどのように活用するか明らかにするとともに、できたものが目的に合ったものになっているかを振り返る学習の工夫。

\*科学的な言葉や概念を理解することができるようにするためには、言葉の意味を的確に捉えることができるように実際の自然の事象・現象に適用して説明をする学習の工夫を図る。



## II. <6年生の児童質問用紙に関する調査の分析結果から> .....

質問は、大きく以下の8項目について62個の質問に対して児童が回答しました。

<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況> <学習習慣>

<学習に対する関心・意欲や授業の理解度(算数)(理科)> <規範意識・自己有用感>

<基本的生活習慣> <地域や社会に関わる活動の状況> <各教科の調査時間の適切性>

「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した合計を「よい評価」として、全国平均と比較し、顕著だった質問事項が以下のものです。

質問事項の一部 <全部で62問>	全国平均との差
○家で、自分で計画を立てて勉強をしている。	+2.2%
○家で学校の授業の予習・復習をしている。	+23.0%
○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上3時間より少ない時間、勉強をする。(学習塾や家庭教師も含む)	+16.1%
○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり30分以上2時間より少ない時間、読書をする。(教科書や参考書、漫画の雑誌は除く)	+5.1%
○算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。	+4.2%
○算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役立つと思う。	+2.7%
○算数の問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考える。	+4.0%
○算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。	+3.8%
○理科の勉強は好きです。	+4.9%
○5年生の時、理科の授業がおもしろいと思った。	+9.0%
●自分には、よいところはあると思う。	-5.1%
●学校の決まりを守っている。	-10.5%
●将来の夢や目標をもっている	-11.8%
●今住んでいる地域の行事に参加している。	-19.7%
●地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。	-5.6%
●算数の勉強は好きです。	-3.6%

< ○…成果のあらわれ ●…課題として >

### <これらの結果から> .....

- ・宿題、家庭学習への取り組み方について、学年に合わせた内容を学年共通の取組として行うことで、家庭での学習の定着、学習意欲につながっています。
- ・開放図書館の方々のご協力をいただきながら、子どもたちの読書環境が整えられていること、全校読書週間を設けるなどの取組が読書への関心高めることにつながっています。
- ・社会ルールを守る規範意識や自己肯定感の向上、規則正しい生活習慣の向上等について学習参観・懇談の中で話題として保護者の皆様や地域の方々と共に考え、家庭・地域との連携による指導の充実を図ります。
- ・地域の教育的環境は子どもたちにとってたいへん重要です。参加の機会がありましたら、ご家庭でも地域の行事に参加していただくと有難いです。

今回の結果についてお子さんの学習や生活の充実のための参考とされまして、引き続きお力添えいただきたくお願い申し上げます。